

# ばばだけ 広島サンダース

久原 大輝

「EMUTT presents

SV・LEAGUE ALL

STAR GAMES 2025

126 KOBE」に、永露元稀、

西本圭吾両選手が出場した。

前日まで東京で激しい順位争い

をしている東京GBとの2連戦を

戦い抜き、翌日の正午には神戸入

り。過密日程の中、まず私の頭を

よぎったのは「無事であってほし

い」という思いだった。

しかし、そんな心配をよそに、

両選手はSVリーグ最大の祭典を

## 球宴で輝く2人に拍手

存分に楽しんだ。永露選手は、かつて所属したWD名古屋や大阪Bの選手たちとの再会に笑顔を見せ、即席チームで組んだスパイカーとも抜群のコンビネーションを披露。さすが日本代表セッター、その一言に尽きる安定感だった。

一方の西本選手は、持ち前の陽気さで会場の空気を一変させた。盛り上がる場面には必ず西本あり、と言っても過言ではなく、数々の見せ場を演出。結果、ベストエンタメ賞を受賞し、名実ともにSVリーグ随一のお祭り男となった。

2人に共通していたのは、「ファンを楽しませる」という揺るぎない姿勢。疲労をみじんも感じさせず、全力でファンを魅了した姿は拍手を送りたい。この心構えをチーム全体で共有し、サンダースは後半戦も、バレーボール界を盛り上げる戦いを続けていく。

(広島Tマネジャー)

会場を大いに盛り上げた永露(左)、西本両選手 (一日)

